MUSEUM NEWS

2016.8 ▶ 2016.9

竹岡雄二　台座から空間へ

竹岡雄二展の展示風景

とき・7/9（土）〜9/4（日）
ところ・2 階展示室
観覧料（埼玉県立近代美術館）・一般 1000 円（800 円）、大高生 800 円（640 円）
※（　）内は 20 名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い 1 名を含む）は無料。併せて MOMAS コレクションもご覧いただけます。
観覧料（遠山記念館）・大人 700 円（560 円）、大高生 500 円（400 円）
※（　）内は 20 名以上の団体料金。中学生以下は無料。障害者手帳をお持ちの方は 200 円割引。併せて「ガラスと土の造形」展もご覧いただけます。

※各館の開館時間、休館日等は異なります。事前に確認の上、お出かけください。

埼玉県立近代美術館と遠山記念館の“タケオカ割”
埼玉県立近代美術館と遠山記念館の「竹岡雄二」展を両方観覧すると、2 会場目の観覧料が 2 割引になります。2 会場目の観覧券購入の際に、1 会場目の半券をご提示ください。※各館内では他の割引と併用できません。

埼玉県立近代美術館限定の“夏割”
夏休みのお子様連れや、大高生のグループでの観覧を応援します！埼玉県立近代美術館で①中学生以下 1 名以上を含むグループ、もしくは②大高生 2 名以上を含むグループで観覧の場合、グループ全員の「竹岡雄二」展の観覧料が 2 割引になります。※観覧券はグループ全員がそろった上で購入ください。※埼玉県立近代美術館のみで実施する割引です。※館内では他の割引と併用できません。

《関連イベント》
◯ **キュレーターズ・トーク、ノーカット版**
とき・8/21（日）13:00〜16:30（開場は 30 分前／出入自由・休憩有）
ところ・2 階講堂／**内容**・竹岡雄二の作品を「見ること」について、担当学芸員の平野到と梅津元が、時間を気にせず語ります。
定員・当日先着 100 名／**費用**・無料
※ご希望のグループに本展の見どころをご案内します（予約制）。お問い合わせ・ご予約は教育・広報担当（電話 048-824-0110）まで。

NEW VISION SAITAMA 5

とき・9/17（土）〜11/14（月・県民の日）
ところ・2 階展示室
内容・現在活躍中の埼玉ゆかりのアーティストに焦点をあてるシリーズ企画「ニュー・ヴィジョン・サイタマ」の第 5 回。80 年代生まれの若手作家 7 名の近作や新作で構成します。自らの身体を経由して外界に触れ、その経験や感覚をそれぞれのメディアやスタイルで表現するアーティストたち。彼らの作品を通じて、同時代の感性と美術のこれからを展望します。
観覧料・一般 1100 円（880 円）、大高生 880 円（710 円）
※（　）内は 20 名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い 1 名を含む）は無料。併せて MOMAS コレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》
◯ **山川冬樹 ライブ・パフォーマンス＋レクチャー『音響身体論 004』**
とき・9/18（日）14:00〜16:15（開場は 30 分前）
ところ・2 階講堂／**内容**・音楽／現代美術／舞台芸術の境界を超えて活躍する山川冬樹が、音との関わりから身体を考察するレクチャーとライブ・パフォーマンスを行います。
定員・50 名（事前申込制、先着順）／**費用**・無料

◯ **阿目虎南（大駱駝艦）舞踏パフォーマンス「蝶番」**
とき・9/25（日）17:30〜18:15（開場は 30 分前）
ところ・2 階講堂、北浦和公園／**内容**・阿目虎南が自ら振付・演出を手掛ける独舞作品。四方を客席に囲まれた舞台上。肉体の内側より矛盾する虚空の実態に対峙し、迫り出す身体とは！
定員・50 名（事前申込制、先着順）／**費用**・無料

◯ **神さまのお面を作って変身！ 神さまフェスティバル 2016**
とき・10/30（日）14:30〜16:30
ところ・3 階創作室／**内容**・色紙を貼ったり、絵具を塗ったりして、神さまのお面を作ろう！出来上がったお面をつけて、神さまに変身！
講師・hanage（青木真莉子［本展出品作家］、秋山幸、戸田祥子）
対象・4 歳から小学生まで（保護者のお手伝い参加可）
定員・15 名（事前申込制、先着順）／**費用**・無料

事前申込の方法・当館ホームページから、各イベントの申込みフォームに必要事項を記入の上、送信してください。申込受理メールをもって受付完了となります。各イベントとも定員に達し次第、受付終了となります。／**受付開始**・8/15（月）10:00〜
※ご希望のグループに本展の見どころをご案内します（予約制）。お問い合わせ・ご予約は教育・広報担当（電話 048-824-0110）まで。

MOMASコレクション（収蔵品展）

2016 年度　第 2 期

とき・7/16（土）〜10/16（日）
ところ・1 階展示室
観覧料・一般 200 円（120 円）、大高生 100 円（60 円）
※（ ）内は 20 名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い 1 名を含む）は無料。

◇ **セレクション：ユトリロとか佐伯祐三とか**
◇ **埼玉の日本画ー近代から現代へ**
◇ **『方寸』の時代**

山路真護《パリの環状高架線》1933 年

《関連イベント》
◯ **サンデー・トーク**
内容・学芸員が展示作品から 1 点を選んで展示室内で解説します。
費用・MOMAS コレクション観覧料が必要です。

とき・8/21（日）15:00〜15:30
作品・山路真護《パリの環状高架線》1933 年／**担当学芸員**・前山裕司

とき・9/4（日）15:00〜15:30
作品・森田恒友《ヴェトゥイユの春 III》1915 年／**担当学芸員**・渋谷拓

森田恒友《ヴェトゥイユの春 III》1915 年

※会期中の毎日 14:00 から 30 分程度、1 階展示室で美術館サポーター（ガイド・ボランティア）による作品ガイドを開催しています。参加には MOMAS コレクション観覧料が必要です。

身体が迫り出す場
NEW VISION SAITAMA 5 にむけて

現在活躍中の埼玉ゆかりのアーティストに焦点をあてるシリーズ企画として、1993 年から継続してきた「ニュー・ヴィジョン・サイタマ」。今秋が 5 回目の開催です。今回は 80 年代生まれの新進アーティスト 7 名（青木真莉子、小左誠一郎、小畑多丘、鈴木のぞみ、高橋大輔、中園孔二、二藤建人）を紹介します。

9 月に迫った展覧会に向けて、現在は各作家と対話を重ねプランを検討しています。本展のための新作を制作している作家も多く、それぞれ意欲的に取り組んでくれていますが、その紹介は次号の【拡大版『ソカロ』開放計画】（!?）に譲り、このコラムでは展覧会のテーマとひそかなコンセプトについて書いてみたいと思います。

展覧会のサブタイトルに「迫り出す身体」とあるように、本展のテーマは「身体」にまつわるものです。若い世代のアーティストが自らの生身の肉体を第一の拠りどころとして、なまの経験や感覚をそれぞれの方法で制作につなげていることを、今日の美術状況のひとつの断面として提示する、という表向きのテーマとは別に、企画者にはひそかな目論見があります。作品に顕わに刻まれたアーティストの身体性が鑑賞者にはたらきかけ、見る人自身の身体感覚が揺さぶられるという体験を提供したいのです。

荒川修作＋マドリン・ギンズ
《問われているプロセス／反転できる宿命の橋》
1973-89 年
ミクストメディア
モデル：178.0 x 61.0 x 1308 cm
平面図の台：27.5 x 165.0 x 1308 cm
© 2016 Estate of Madeline Gins. Reproduced with permission of the Estate of Madeline Gins.
Photograph by Norihiro Ueno

このことについて考えているとき導きの星になったのは、荒川修作（1936-2010）がフランス北部のエピナル市のために構想していたプロジェクト《問われているプロセス／反転できる宿命の橋》（1973-89）です。ロレーヌ地方を流れるモーゼル川に長さ約 140 メートルの橋を架け、その上にさまざまな仕掛けを施した 21 もの部屋を設置しようとしたこの未完のプロジェクトは、ここを通過する人の身体感覚を揺さぶり、意識を変容させ、今まであたりまえだと思い込まされていた常識を覆すための装置でした。

「ニュー・ヴィジョン・サイタマ」では、展示室（あるいは美術館）全体をこうしたひとつの装置とすることは可能だろうか、と考えています。作品と出会いながら特色ある 7 つの身体を経験し、すべてを知っていたはずの自らの身体を新たな感覚でとらえなおす、そんな展覧会にしたいのです。展示室を通り抜けた人の意識の中で、自分が生身の肉体で世界に接しているのだという感覚が生まれる、言い換えれば身体が意識の前面に迫り出してくる、これが本展のひそかなコンセプトです。

荒川は究極的には不可避の死の宿命さえも覆そうとしていました。彼が望んだ地平まで展覧会の射程を延ばすことは到底できないけれど、この不確かな時代を生きるための手応えたりうる何かを、アーティストとともに探してみたいと思います。（I.O.）

アートフル∞プログラム　MOMASの扉

とき・毎週土曜日 13:30〜15:30
対象・幼児から大人まで
費用・「親子クルーズ（企画展物語）」は材料費 500 円。その他は無料。／**申込方法**・館内で配布する申込用紙により FAX でお申し込みください。申込用紙はホームページからもダウンロードできます。

9 月分の申込みを 8/1（月）から受け付けます。
9/ 3（土） みる＋つくる（企画展物語）［小・中学生］
9/10（土） わくわく鑑賞ツアー［※申込不要］
9/17（土） 親子クルーズ（MOMAS コレクション）［小・中学生＋保護者］
9/24（土） み〜っけ！［4〜6 歳＋保護者］

10 月分の申込みを 9/1（木）から受け付けます。
10/ 8（土） さいたまトリエンナーレ関連 WS［小学生から大人まで］
10/15（土） 親子クルーズ（MOMAS コレクション）［小・中学生＋保護者］
10/22（土） アート★ビンゴ［※申込不要］
10/29（土） 親子クルーズ（企画展物語）［小・中学生＋保護者］

一般展示室（地階）

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報については各主催者へお問い合わせください。
※展示により観覧時間（特に最終日の終了時間）が異なります。

◆ 8/2（火）〜8/7（日）
第 12 回水彩連盟埼玉西支部展（水彩）…… 一般展示室 1
第 26 回旺玄会埼玉支部作品展（水彩、油彩、日本画ほか）…… 一般展示室 3・4

◆ 8/9（火）〜8/14（日）
第 50 回記念埼玉平和美術展（絵画、彫刻、工芸ほか）…… 一般展示室 1〜4

◆ 8/16（火）〜8/21（日）
樋口広一郎展 2012-2016（水彩）…… 一般展示室 4

◆ 8/17（水）〜8/21（日）
第 30 回記念 墨芳展（書）…… 一般展示室 1〜3

◆ 8/23（火）〜8/28（日）
第 30 回（公募）埼玉創元展（水彩、油彩、日本画ほか）… 一般展示室 1
第 9 回彩幸会 水彩・パステル画展（水彩、パステル）… 一般展示室 2
第 30 回フォトグループ ウェーヴ展（写真）…… 一般展示室 3
ポスケッチ・第 18 回「保倉勝美の世界展」（ポスケッチ）…… 一般展示室 4

◆ 8/30（火）〜9/4（日）
第 50 回埼玉三軌展（水彩、油彩、日本画）…… 一般展示室 1
第 32 回アート現宇展（油彩、アクリル、コラージュ）… 一般展示室 2
第 4 回私の自然展（写真）…… 一般展示室 3

◆ 8/30（火）〜9/11（日） ※9/5（月）は休館日
ヨシズミ トシオ展 ありあるクリエーションズ企画（油彩、水墨画、版画ほか）…… 一般展示室 4

◆ 9/6（火）〜9/11（日）
第 33 回埼玉県写真サロン（写真）…… 一般展示室 1
第 25 回工芸新樹会公募展（工芸）…… 一般展示室 2
第 8 回フォトサークル・オプト写真展（写真）…… 一般展示室 3

◆ 9/15（木）〜9/18（日）
第 60 回記念埼玉書道展（書）…… 一般展示室 1〜4

◆ 9/20（火）〜9/25（日）
第 49 回第一美術協会埼玉支部展（絵画、彫塑、工芸）… 一般展示室 1
第 37 回太平洋埼玉展（水彩、油彩、版画）…… 一般展示室 2・3
第 7 回「自写自賛」写真展（小中四平個展）（写真）… 一般展示室 4

◆ 9/27（火）〜10/2（日）
第 20 回西遊会美術展（水彩、油彩、版画ほか）…… 一般展示室 1
悠友会，風の会，合同展（水彩、油彩、日本画）…… 一般展示室 2〜4

ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回は驚きの仕掛け！「360°BOOK」をご紹介します。手のひらサイズの本をくるっと開いてみると、あら不思議！ 瞬く間に繊細な装飾のジオラマが飛び出します。富士山と白雪姫の 2 種類。どちらも 360° の世界にストーリーが展開されており、圧巻です！ お土産やプレゼントにはもちろん、インテリアに飾ってもとてもオシャレです。（S.H.）

360° BOOK（富士山／白雪姫）　各 2,500 円（税抜）

編集後記

今号の竹岡展特集いかがでしたか？寄稿ならびに協力いただきました皆様に感謝申し上げます。次号は「New Vision Saitama 5」総力特集、ソカロ・デラックス！お楽しみに！（U）

デラックスコワイガクガクブルブル。（O）

AR 動画　のマークが付いている写真にスマートフォンをかざすと、動画をご覧いただけます。無料 AR アプリ「Aurasma」を App Store または Google Play でダウンロードしてお楽しみください。
アプリの使い方については、当館ホームページの「広報紙ソカロ」のページをご参照ください。

埼玉県立近代美術館
The Museum of Modern Art, Saitama
所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111　**FAX**・048-824-0119　**URL**・http://www.pref.spec.ed.jp/momas/
開館時間・10：00〜17：30（展示室への入場は17：00まで）
休館日・月曜日（9/19は開館）
入館料・無料　**観覧料**・上記をご覧ください

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分（北浦和公園内）。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に来館者専用の駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き）。
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので予めご了承ください。

発行・埼玉県立近代美術館　**編集**・教育・広報担当 梅津元・落合範崇　**原稿執筆**・(I.O.) 大浦周 / (S.H.) 浜田幸代　**デザイン協力**・埼玉大学 高須賀研究室